総社市立中学校・義務教育学校の部活動の地域クラブ化

1．総社市が目指す地域移行の姿

1．仲間と励ましあい、高めあう子ども

- ✓ 「中学校」という単位をベースとし、同じ地域に住む、同年代の仲間と励ましあい、思いやり、助け合いながら、目標に向かって取り組める環境を創る。

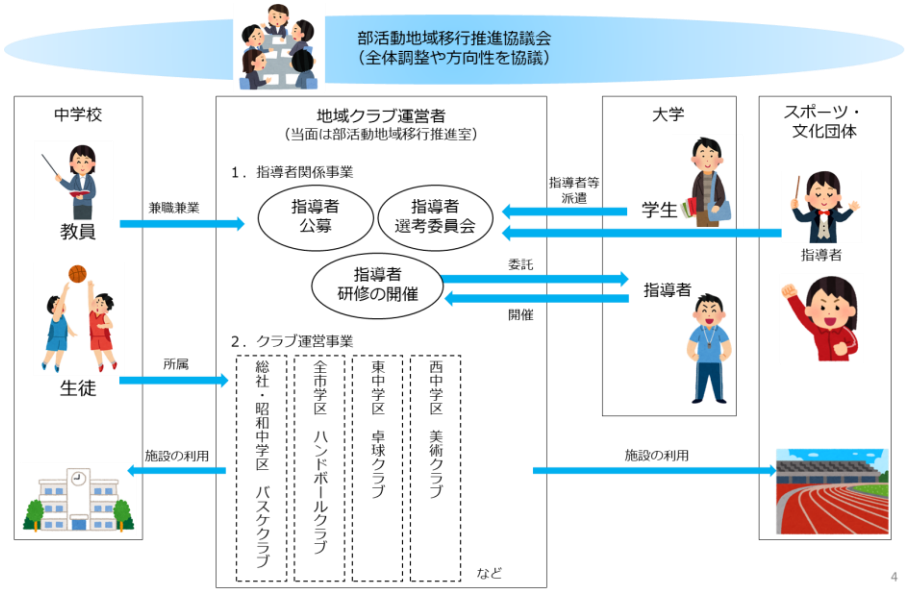
2．自ら考え、行動する子ども

- ✓ 生徒が「やりたい」スポーツ・文化芸術活動を自ら主体的に考えて選択できるよう、スポーツ・文化芸術環境を整備する。
- ✓ アスリートの招聘、大学との連携協力など、新しい経験の場を提供することにより、将来のことを考える機会を創る。

3．諦めず、挑戦する子ども

- ✓ 自ら選択したスポーツ・文化芸術活動を、困難に打ち勝ち、諦めずに挑戦を続けられる環境を整備する。

2．連携体制



3．基本的な進め方

第1段階：活動人数の確保

小規模校の学校部活動で合同部活動を実施し、人数の確保を図る。

第2段階：指導者の確保

1．外部指導者の増員

学校部活動が担ってきた教育的意義に沿って指導ができる指導者を確保する。

2．指導者の資質向上

論理的な指導方法や、科学的知見に基づいた専門的な指導などに関する研修を実施する。

第3段階：地域クラブ化

以下の要件に合致したクラブを地域クラブ活動へ移行する。

①指導者が確保できている

②大会・コンクール等の出場規定が中央競技団体で整備されている

③生徒・保護者に十分に説明されている

＜令和６年度＞
・小規模校の学校部活動及び拠点校部活動を指定し、休日の活動を地域クラブ化
・指導者養成研修及び外部指導者の派遣
・平日の活動参加のための移動手段の検討

＜令和７年度＞
・大規模校設置種目（陸上競技、剣道、合唱）の地域クラブ化
・保護者負担による参加費徴収の検討
・平日の活動参加のための移動手段の試行

＜令和８年度＞
・大規模校設置全12種目の休日の活動を地域クラブ化
・小規模校設置種目の半数について平日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行